

会議録（１）

会議の名称	令和7年度第2回飯能市下水道事業審議会
開催日時	令和7年12月17日（水） 開会 午前9時30分 閉会 午前11時30分
開催場所	飯能市浄化センター2階会議室
議長氏名	佐野 純一
出席委員	前田 悦子 木崎 稔生 佐野 純一 吉田 智之 栗原 久美子 関 邦彦
欠席委員	篠田 香都子 佐武 泰史
説明者の職氏名	下水道課長 原田 忠彦 下水道課主任 増岡 佑作
傍聴者の数	なし
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員職氏名	上下水道部長 斉藤 昌幸 下水道課長 原田 忠彦 下水道課主幹 高橋 大基 下水道課主任 増岡 佑作 下水道課主任 宮田 伴実

会議録（２）

議事録の概要（経過）・決定事項

1 開会

2 会長あいさつ

3 議事

（１）経営戦略について

（２）その他

事務局から配布資料の説明後、質疑応答を行った。

4 その他

事務局から今後の予定等について説明した。

5 閉会

会議録（3）

発言者	発言内容
下水道課主幹	<p>それでは議事に入ります。</p> <p>審議会条例の規定により、佐野会長に議長をお願いし、議事を進めていただきたいと存じます。</p>
議長	<p>それでは、会長、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>初めに議事（1）「経営戦略について」を議題といたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
下水道課長	<p>—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第5章）に基づき説明した。—</p>
議長	<p>ただいまの説明について、ご質問等はございますか。</p>
委員	<p>具体的な内容に入る前に、経営戦略プランの位置づけはどうなっているのでしょうか。また、議会がどのように関わっていくのか、庁内でどのような決定がなされるのでしょうか。</p>
下水道課長	<p>経営戦略プランは、下水道の長期的な方針として作成しており、今回は計画期間10年間の軌道修正ということで中間見直しを行いました。庁内においては、下水道の今後の進め方、財源的なものは財政部門、し尿処理施設など関連施設や地域の課題に関するものは企画部門と、現況を踏まえた今後の考え方について共有を図っていきます。議会については、庁内の合意結果をもとに、施設の老朽化や今後の新規敷設があるので、今後の方針について随時議会に報告したいと思えます。</p>
委員	<p>具体的にはどういった場でどういった形で議会に示すのでしょうか。</p>
下水道課長	<p>場を設けての報告の予定はありませんが、ストックマネジメント計画に基づく工事に着手し多額の資金が必要となりますので、その前の段階で長期的な課題などを共有したいと考えております。</p>
議長	<p>議会へ報告する具体的な予定がないとすると、一般質問の場、あるいはそれに準じた場を捉えて説明していただくのが良いと思いますが、いかがでしょうか。</p>
下水道課長	<p>3月の議会では予算の議案を提出しますので、その際に本プランを踏まえた予算編成になっていることを報告したいと思えます。</p>
議長	<p>今後はどのようなスケジュールで進めていく予定でしょうか。</p>
下水道課長	<p>第1回審議会でご審議いただいた第1章から第4章も併せて本プラ</p>

委員	<p>ン（案）を見直し、12月の第4週目に委員へ送付いたします。そこでご意見をいただきまして、それを反映させたものを答申として作成いたします。</p> <p>議会や庁内部局との折衝の際に、審議会でこれが良とされているということが担当課の重要な裏付けとなると思います。それだけに、この審議の場が予算や整備方針を裏付けるものとなるので、かなり重要になってきます。今日の審議でもそれを念頭に置いた上でかなり突っ込んだ意見が必要と感じておりますので、よろしく申し上げます。</p>
議長	<p>「5-2 スtockマネジメントの実施」の最適な改築シミュレーションに標準耐用年数×1.5とありますが、標準的な耐用年数を伸ばして最適な期間を設けるということでしょうか。いろいろな種類の施設があるので、物によってまちまちであり、一律に伸ばすということではないと思いますが、説明をお願いします。</p>
下水道課主幹	<p>最適な改築シミュレーションについては、実際には現地の物や施設を一つ一つ点検してどのくらい持ちそうか、あるいは修繕しなくてはならないかというのを見ていかなければなりません。その中で、およそ平均して標準耐用年数よりも1.5倍くらいは長持ちできるだろうというところで、標準的なものとしてこの計算式を記載しています。</p>
議長	<p>これから、たくさんあるいろいろな施設を総点検するというイメージでしょうか。</p>
下水道課主幹	<p>浄化センターについては、一昨年度から昨年度にかけて全体的な調査をし、ストックマネジメント計画の見直しをした上での表となっております。管きよについても、ストックマネジメント計画に従って順次見直したものが反映された表となっております。</p>
議長	<p>「5-3 主な建設改良事業」に「(4)浸水対策」とありますが、飯能市内では今まであまり実例がない、あるいは想定されていなかったのでしょうか。これからは、浸水の被害もある程度視野に入れる必要があります、浸水想定区域なども考えているということでしょうか。</p>
下水道課主幹	<p>大雨が降った時の浸水については、かつてから飯能市内でも土地がなだらかで窪地のような形状の所で部分的にあり、関連部署でその都度対応していました。近年のゲリラ豪雨などがある中で、国から各自治体で雨水出水浸水想定区域図を作成し、ゆくゆくはハザードマップに昇華させることが求められているため、まずは内水浸水想定区域図を作り、ホームページ等の公表を考えております。</p>
委員	<p>八潮市で大規模陥没事故があり大きなニュースとなりましたが、経営戦略プランに記載されている管きよの老朽化対策がこの時期としては薄いのかなと感じます。飯能市浄化センターは老朽化対策の所で記</p>

	載されていますが、管きよの老朽化箇所への把握やそれに対する対策ということが特段言葉として見えてこない印象ですが、いかがでしょうか。
下水道課長	おっしゃるとおり、八潮の大規模陥没事故は上下水を含めた大きな課題、懸案となっており、こちらの文言についてはそれを踏まえた内容に修正させていただきます。
委員	国から下水道管路の緊急点検の要請はあったのでしょうか。
下水道課長	国から要請のあった全国特別重点調査について、当市も該当はありましたが、危険度の判定で早急な対応が必要なものは現段階ではありませんでした。ただ、当市には標準耐用年数を過ぎた管きよが多数あり、老朽化による陥没や災害が発生するリスクがある状況です。
議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
議長	それでは、第6章について、事務局から説明をお願いいたします。
下水道課長	—「飯能市下水道事業経営戦略プラン(案)」(第6章)に基づき説明した。—
議長	ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	「6-2 財源の試算」の「(4)企業債」について、ストックマネジメントを見通して増えていくということだと思いますが、これではストックマネジメントをやると増えていくように捉えられてしまいます。ここは、もう少し正確に書かれた方が良くはないでしょうか。
下水道課長	「ストックマネジメント計画に基づき」とするなど、表現を改めたいと思います。
委員	企業債の残高について、近年は減り方が大きくなっていますが、企業債の返済のスピードが上がったのには何か理由があるのでしょうか。
下水道課長	以前は借入額と償還額が同じくらいのバランスだったものが、直近は借入額が少なかったために償還額が借入額を上回り、残高が減少しました。
委員	「借入額の減少によって残高が減っているが、今後は借入額が増えるので残高が増加する」とした方が良くと思います。
委員	返済額が増えているのには理由があるのでしょうか。キャッシュフローを見ると、利益に減価償却費を足したものが11億円くらいあり、そのうち過半数を返済していると思うと、それだけ急いで返す必要があるのでしょうか。
下水道課長	下水道事業においては返済期間が30年間となっていますので、過去30年のものを返済しているということになります。据え置きが5年間

委員	<p>ありますので、実質 25 年間で元金返済しております。</p> <p>企業債については、借入れを行ってそれを長期間で数世代にわたって返済していくということが基本的なやり方であるので、企業債の見通しや考え方が下水道事業の経営を左右するといっても過言ではないと思います。もう少し企業債に関する記載のボリュームを厚くして、しっかりとした見通しを持っていることがわかるような記述をしていただいても良いと思います。</p>
下水道課長	<p>後年度の負担が大きくなって債務超過にならないように、計画的にやっていることがわかるよう記載いたします。</p>
議長	<p>「6-3 ロードマップ」に「3年ごとに使用料の在り方の検討と改定」と記載がありますが、改定ありきと読めるので、「検討し、その結果として場合により改定もありうる」とした方が良いのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>「6-2 財源の試算」の「(1)下水道使用料」には「必要に応じて使用料水準の見直し」とあるので、ロードマップにも共通した表現で入れた方が良いと思います。</p>
委員	<p>「(6)大規模太陽光発電事業」の太陽光発電施設の敷地は、写真で見ると処理施設と比べだいぶ広く見えますが、割合としてはどれくらいでしょうか。</p>
下水道課主幹	<p>こちらの写真が少し斜め俯瞰なので、大きく見えるかと思いますが、処理施設とほぼ同等くらいであると記憶しております。</p>
議長	<p>「6-3 ロードマップ」の3年ごとに使用料を検討というのは、これまではなかったのでしょうか。これからは3年を目安に検討していくことがここで明示されるということでしょうか。</p>
下水道課長	<p>お質しのとおりです。国からも3年から5年程度で見直しすることが求められております。</p>
委員	<p>「第6章 財源の試算」が、「試算」とありながら現状ばかりとなっています。項目名が「試算」となっているのであれば、計画が終わるまでに将来的にどのようなようになりそうかを記載した方が良いと思います。昨年の使用料改定の際に、改定による将来の見通しが示されていたと思うので、そういった記述があると良くなると思います。</p>
議長	<p>「試算」ではなく何か適切な言葉があれば良いですが、国から示されたマニュアルの表現がこうなっているのでしょうか。</p>
下水道課長	<p>項目の頭出しとして明示はされていません。</p>
議長	<p>なかなか換わる言葉というのは難しいので、時間をおいて検討をお願いします。他にご質問等はございますか。</p>
委員	<p>—なしの声あり—</p>

議長	それでは、第7章・第8章について、事務局から説明をお願いいたします。
下水道課長	—「飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）」（第7章・第8章）に基づき説明した。—
議長	ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	「7-3 投資・財政計画」は、全部計画的な数値が入っているのでしょうか。
下水道課長	計画をベースに今後の実績を比較することになりますので、計画の段階のものを記載しております。
委員	過年度は、終わったのに実績ではなく計画の数値が入っているのでしょうか。
下水道課長	お質しのとおり、計画策定時点での目標となっております。この後、配付しました資料「投資財政計画参考資料（決算状況）」で、令和6年度までの決算の状況を実績としてご説明いたします。
議長	他にご質問等はございますか。
委員	—なしの声あり—
下水道課主任	—「投資財政計画参考資料（決算状況）」及び「補てん財源の概要について」に基づき説明した。—
議長	ただいまの説明について、ご質問等はございますか。
委員	補てん財源が減少していつて無くなるということも考えられると思いますが、見通しは大丈夫なのでしょうか。
下水道課長	かなり厳しい状況であります。今回の使用料改定によりその分の収入がプラスになりますので、補てん財源として留保し、工事で不足する額に充てたいと考えております。今後、補てん財源が増えるのはなかなか難しく、厳しい状況にあります。
委員	老朽化した箇所がたくさんあると思いますし、補助金が出なくなった時にこちらでやらなくてはならないとなると、補てん財源が予想外に無くなるということも考えられると思います。そういった場合はどのように対処していくのでしょうか。
下水道課長	補助金が貰えず借入れができない場合ですと、補てん財源を使う必要があります。補てん財源は一定の金額を持っていないと何もできない状況になってしまうので、非常に危険度の高い経営状況になっています。具体的な指標はないですが、一般的に年間の使用料収入額相当となっております。そうすると10億円程度無くてはならないということになり、それを目標値としています。
議長	単純に令和6年度決算を見ると当年度純利益がプラスになっているようですが、いかがでしょうか。

下水道課長	プラスですが、これは一般会計からの繰入金によるものが大きくなっており、トータルで見て工事の方も含めると減ってしまっています。
委員	経営状況が厳しいということは、議会などで示しているのでしょうか。そうしないと、余っているから黒字だからと予算を減らされたりすると困ってしまいます。今は支出が抑えられていてたまたまプラスだけれども、今後はもっと費用がかかるため、最低限これだけはキープしてほしいということを要求していかないと、一般会計も財政的に厳しければどんどん減らしてしまうと思うので、そこはお願いします。
下水道課長	議会や内部の財政課や企画課への現状の説明は丁寧にしております。今後さらに経営は厳しい状況であり、老朽化した施設の修繕が多額になることも随時説明し、繰入金については最低限のレベルはいただかないとやっていけないという話をしております。
議長	先程、企業債残高が減ってきているという話がありましたが、借りたとしても5年間据え置きということは、残高は5年くらい変わらない水準になるのでしょうか。
下水道課長	残高なので数年は横ばいで行くと思いますが、その後老朽化対策により増加する可能性があります。
委員	収益的収入の長期前受金戻入は、こういったルールでこの数字が決まってくるものなのでしょうか。
下水道課主任	地方公営企業法施行令の規定により、補助金等により取得し又は改良した固定資産の減価償却、除却を行う際に、償却見合い分を順次収益化しています。
委員	このご時世の中、令和6年度の職員給与費が急に減少しているのは、なぜでしょうか。
下水道課長	配置換えにより、営業に関する職員が建設に関する職員に換わったため、収益的支出の職員給与費が減り、資本的支出の職員給与費が増えました。
委員	長期前受金戻入はどのくらいの残高があるのでしょうか。
下水道課長	後日、資料をお送りします。
委員	上下水道部長にお伺いしたいのですが、会計面では企業会計として水道の方が長い歴史があると思いますが、今後も含めて上下水道部という形での使用者が受けるメリットは、どのようなもののでしょうか。
上下水道部長	メリットに該当するかわかりませんが、それぞれの会計で別にやっております。ただ、それぞれの事業ごとに会計の仕方が若干違っておりますので、令和9年度にそれぞれの経営担当を一つの課にまとめ、経営課として間違いのないようにやっていく予定であります。投資につきましては、事業ごとに厳しさが違うことから、水道については補

<p>議長 委員 議長</p>	<p>てん財源と呼ばれる内部留保が13億円あり、今後積極的に投資が必要になってくる一方、下水については数年間新たな投資は我慢するという ことで、なるべく水道事業会計に近づけていきます。上下水道部で見 ますと、それぞれの良い所、悪い所がありますので、それをなるべく 良い所に近づけていくように努力していきたいと思ひます。</p> <p>他にご質問等はございますか。</p> <p>—なしの声あり—</p>
<p>委員 議長</p>	<p>これまでの審議をもって飯能市下水道事業経営戦略プラン（案）を 了とすることにご異議ございませんか。</p> <p>—なしの声あり—</p>
<p>委員 議長</p>	<p>議事（2）「その他」を議題といたします。委員の皆様からは何かご ざいますでしょうか。</p> <p>—なしの声あり—</p>
<p>委員 議長</p>	<p>以上で議事については、終了しました。それでは、これをもちまし て議長の任を降ろさせていただきます。</p>
<p>下水道課主幹 下水道課主任</p>	<p>次に、4その他 について事務局よりご説明させていただきます。 今後の予定について説明させていただきます。答申につきましては、 1月13日（火）午後1時30分から飯能市役所市長応接室にて実施予 定となっております。また、第2回審議会の報酬につきましては、1 月15日に振込予定ですので、振込日以降に確認をお願いします。説 明は以上です。</p>
<p>下水道課主幹 委員 下水道課主幹</p>	<p>委員の皆様からは何かございますでしょうか。</p> <p>—なしの声あり—</p> <p>以上をもちまして、本日予定しておりました議事は全て終了となりま す。</p>
<p>議事のとん末・概要を記載し、その相違ないことを証するためここに署名します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>議長の署名 _____</p>	